

宇宙開発利用専門調査会の進め方 - 第18回以降の見直し案

平成16年 1月 16日
総合科学技術会議事務局

第12回の調査会提示資料「宇宙開発利用専門調査会の進め方(案)」(資料12-1)で示した今後の予定について、これまでの状況を踏まえ、第18回以降の進め方についての見直し案として、下記に示す。

【ヒアリングの進め方】

会議の前半は関係者ヒアリングを行い、後半で課題抽出の議論を行う。

・第18回 [平成16年 2月 6日(金)]

(1) 「長期を見据えた基礎的・基盤的研究」のヒアリング

- ヒアリング内容

(a)宇宙科学研究への取組み

(b)基盤研究等への取組み

・要素研究

・宇宙実証への取組み

()国としての取組み：つばさ、USERS、SERVIS、マイクロラブサット

()学としての取組み：キューブサット

()民としての取組み：まいど1号

・先端的研究開発への取組み

(宇宙太陽光発電システム、再使用型宇宙輸送システム等)

・スペースデブリ研究への取組み

・第19回 [平成16年 2月24日(火)]

(1) 「国際宇宙ステーション計画」のヒアリング

- ヒアリング内容

(a)国際宇宙ステーション計画の見直し

(b)国際宇宙ステーションに対する産業界としての取組み

(2) 「国際戦略」のヒアリング

- ヒアリング内容

(a)宇宙利用活動における国際協力への取組み等

- ・アジア諸国の宇宙活動調査結果
- ・文部科学省、JAXAにおける宇宙分野の2国間・多国間協力
- ・各府省の取組み
- ・産業界としての取組み

．第20回 [3月(未定)]

- (1) 「宇宙輸送系システムのあり方(その2)」のヒアリング
 - ヒアリング内容
 - (a)世界におけるロケットの現状
 - (b)H - Aロケットの状況
 - (c)M - ロケットの状況
 - (d)GXロケットの状況

．第21回 [3月(未定)]

- (1)ヒアリングによるフォローアップの総括
 - ・基盤技術のベンチマーキングとロードマップ
 - ・課題の抽出と対応について

．第22回～第26回 [予定：平成16年4月以降]

第21回にて識別された課題についてのフォローアップを実施

以 上